

## 図柄ナンバー 豊田・みよしも開始 グランパスくんら祝福



㊦「1番」のナンバープレートを手にする村山さん(右から3人目)ら=豊田市役所で ㊧「1番」のナンバープレートを手に見せる伊藤さん㊨=みよし市役所で



全国で自動車用の地方版図柄入りナンバープレートの交付が始まった一日、豊田、みよし両市では原付き用の図柄入りナンバーの交付が始まった。両市役所では式典があり、市長がそれぞれ

豊田ナンバーは自動車、原付きとも同じデザインで、豊田スタジアムと四季桜、香嵐溪の紅葉があしらわれている。豊田市役所では、太田稔彦市長が「1番」が交付された市民に、原付き用は排気量に応じ

て中央にあしらった豊田スタジアムのシルエットの色が異なる。五〇cc以下は白色、九〇cc以下は黄色、一二五cc以下は桃色、ミニカーは水色だ。五〇cc以下で「1番」を手に入れた竹生町の主婦村山利恵子さん(左)は、大のグランパスサポーター。「ずっと狙っていた。念願かなってうれしい」と喜んだ。

みよしのナンバーは五〇cc以下のミニバイクのみで、三好稻荷閣の大提灯をかたどった。同市役所では小野田賢治市長が八人の応募者から抽選で選ばれた三好町の愛知教育大二年伊藤和真さん(右)に手渡した。

伊藤さんは「1番をもらえてうれしい。小中学生の頃に参加した大提灯まつりのおはやしを思い出した」と話した。

(森本尚平、生津千里)